



すだいだい収穫の様子



すだいだい収穫の様子



工場でのすだいだいビール製造の様子

「地ビール開発大津島すだいだいビールプロジェクト」

周南料飲組合 青年部 × 大津島地区コミュニティ推進協議会

- 教育・子育て
- 地域づくり
- 福祉・健康・医療
- 産業・観光
- その他（国際交流）
- 生涯学習・人権
- 安心安全
- 都市基盤
- 環境共生



すだいだい収穫の様子



収穫したすだいだい



工場でのすだいだいビール製造の様子

周南市の特産品を生み出し、団体の抱える悩みを解決する

地ビールは、全国的に認知された地域商品であり、商品力が高いことから、周南市独自の地ビールとして、大津島で多く収穫できる「すだいだい」を利用した付加価値の高い地ビールを生産し、島の特産品を生むとともに、商業力を高め、周南市内での飲食店舗の活性化を図る。

PROJECT POINT

- 1 大津島の新たな特産品の開発
- 2 地域資源の有効活用
- 3 中心市街地（飲食店）の活性化

APPROACH 大津島産のすだいだいを使った地ビールを開発する

“地ビール開発大津島すだいだいビールプロジェクト”の取り組み

大津島には農家の高齢化が進み、収穫・出荷されないままのすだいだいがあり、これを大津島の特産品として活用できないだろうか考えた。また、周南料飲組合では、周南市をアピールできる特産品を作りたいと思っており、大津島のすだいだいが名産であることを知り、コラボレーションすることで特産品が作れるのではないかと思い連携した。連携したことでビールの製品化を実現することができた。多くの人に周知するために完成披露イベントを開催し、市内の飲食店への誘客に繋がる広報活動を行った。

“地ビール開発大津島すだいだいビールプロジェクト”の目標

2018年には6,000本のすだいだい地ビールを完売することができた。2019年にはもっと多くの地ビールを生産する予定。地ビールを開発したことにより大津島のすだいだいの収穫・出荷の課題を解決できた。今後は、大津島にあるすだいだいの木の管理を強化し、質の良いすだいだいの生産に努めたい。すだいだい地ビールを飲んだ人の笑顔が生産者にとって最大の喜びである。今後も力を合わせて挑戦し続けたい。